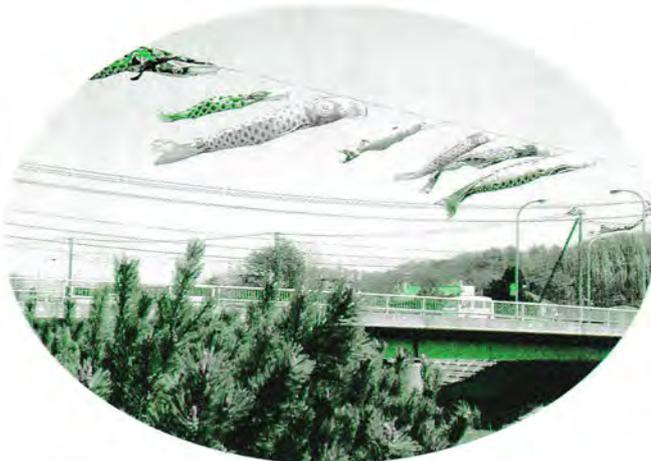


清流

# あしりべつ川

発行

清田地区町内会連合会  
 〒004-0841  
 清田区清田1条2丁目  
 TEL 883-7600  
 FAX 883-8057  
 発行責任者 牧野 晃



## 華やかに夏を彩る あしりべつ川のほろり

清田区の中心部を南北に縦断し、区のシンボルとして親しまれている「あしりべつ川」は、河川敷に樹木や花が栽培されて、周辺を散策する人々の目を楽しませている。

五月初旬になると、さつき晴れの「あしりべつ川」上空を泳ぐ色とりどりの鯉のぼりが、真っ先に夏の訪れを知らせてくれる。

国道三六号線に架かる清田橋から旧道の厚別橋まで、華やかに五月中旬の河川敷を彩るのは、二十本の八重桜の並木。

色鮮やかに、空に向かって競うように自生するルピナス（のぼりふじ）が咲くのは六月中旬。周囲一帯に甘い香りを漂わせて七月の盛夏を演出するラベンダーの群生。

花ごよみのページをめくるように今年もまた「あしりべつ川」周辺に夏本番が訪れる。

(写真・文 清水延明)

# 二十三年度 清田地区町連の 活動について



清田地区町内会連合会  
会長 牧野 晃

平成二十三年度のスタートにあたりまして、一言ご挨拶を申し上げます。先ず初めに、三月十一日に発生しました東日本大震災により、お亡くなりになられた多くの方々に心より哀悼の意を表し、また甚大な被害を受けられた方々にお見舞い申し上げます。一日も早い復旧・復興を祈念いたします。

さて、今年度の町連「まちづくり」の課題ですが、これまで①つは、お年寄りや子育てを支える優しいまち、②つは、安全で誰もが安心して暮せるまち、③つは、みどり豊かな便利で快適なまち、の三点を挙げ実践して参りました。その中で、一定の成果を上げつつも、まだ活動半ばであり、今年度も引き続き同じ課題を挙げ、町内会の皆さんと共に「住みよいまち」の実現を目指し努力したいと思います。次に、昨年の清田地区を震源とする

直下型地震の体験と三月十一日の東日本大震災を目のあたりにし、その備えが緊急な課題であることを実感致しました。

特に、お年寄りや身体の不自由な方々等の避難を「だれが」支援するかであります。今年度は被災地に学び、町内会でどうするか話し合い、機運づくりをしながら地域の優しさと英知を結集し、早急に支援体制を整えねばと思っております。皆さん方の一層のご理解とご協力をお願い致します。

## 二十三年度定例総会



定例総会

清田地区町内会連合会「平成二十三年度定例総会」が四月二十九日(金)午前十時から清田区民センターで開催されました。(定数七十四人に対し出席代議員六十一人、委任状十一人)。牧野晃会長が「二十二年度も住みよいまちづくりのため、お年よりや子育て

てを支える、誰でもが安心して住める、みどり豊かな快適なまちづくり」を重点に活動し一定の成果を上げる事が出来ました。今後も町内会、まちづくり協議会皆様のご協力を得て住みよいまちの実現に努力して参ります。もう一点は、去年十二月に清田区を襲った直下型地震、そして今年三月の東日本大震災、災害はいつ起きても不思議ではないという考えに立ち、その備えが緊急課題であると実感しました。被災地に学びながら研修を深め、町内会皆様

## 有明町内会に 女性部誕生



有明町内会に発足してから初めて女性部が誕生し活動が注目されています。女性部発足の経緯について漆館勝弘会長は「町内会では将来、高齢者の増加にともない見守り活動の一役を担うためには女性の力が大きいと考えました。また、今までは町内会の行事も男性ばかりで行って来ており、町内会の裾野を拡げて行くためにも女性の意見を聞き、女性らしい目線も必要と思いました。今すぐ成果を期待するのではなく時間をかけて息のながいものにして行きたい。そして、他の単町の

の英知を結集し防災体制を整えて行かねばならないと考えており、一層のご協力とご理解をお願い致します」と挨拶。

続いて真栄団地町内会の佐波哲雄さんを議長に選出し議事に入りました。そして二十二年度の事業と決算報告、二十三年度の事業と一般、印刷機事業、周年記念事業の会計予算案が示され原案通り承認されました。また、会則、表彰規定の改訂、役員(再任)が了承され総会を終了しました。



設立への会議

語っていました。部の誕生に一役かった町連の茂木良子女性部長も「仲間が増えて喜んでいきます、行事も色々あり、役員としてぜひ一緒に活動しましょう」と大歓迎でした。(佐々木康子)

女性部と仲良く活動の輪を広げて行く事を願っています。初代部長の川瀬法子さんは「ゼロからのスタートで手探りの状態ですが頑張っていくと思います」と抱負を

# 交通安全を願い プレゼント

女性部・母の会

四月六日(水)町連地区内の三つの小学校で入学式を迎え新一年生が誕生しました。女性部・交通安全母の会では新一年生の事故防止を願って六日に真栄小学校、十一日は清田小学校と有明小学校の児童一人ひとりに「車に気を付けてね」と声をかけながら反射板キーホルダーと手作りのランチマットを手渡しました。

子供たちから「はい、ありがとうございます」と元気な声が返りメンバー

を感激させました。  
”有明、真栄、清田小学校の新一年生の皆さん、六年間交通安全を心に誓い無事卒業式を迎えて下さいね”  
(佐々木康子)



## 地域と教育について 児童・生徒に「生きる力」を

小学校では、今年四月から「脱ゆとり教育」を反映した新学習指導要領が実施されています。中学校は来年四月から完全実施の予定です。

小・中ともに、教える内容が相当増えた事により、教科書は大判で分厚く重いのでびっくりしています。学校では時間を増やしたり、教える内容を精選し「基礎的・基本的な知識の習得」の重点化を図っているようです。これからの学校教育活動を推進する

に当たっては、地域生活者としての児童・生徒に「生きる力」を育成し、各学校が創意工夫した特色ある教育活動を展開する必要があります。そのためには、これまで以上に学校・家庭・地域の連携が重要になります。特色のある学校教育を目指すには、「地域教育力」を取り入れるべきだと思います。地域教育力は大別しますと①地域の自然、文化(広義の文化とその特殊な形態である文化財や伝統文化)及び人

間関係の持つ教育力、②地域の諸機関・施設・活動のもつ教育力です。

地域教育力の担い手である

学校外の社会人(保護者・地域住民・行政関係者)の活用は、学校教育は教師だけが行うという固定観念を捨てて、ともすれば慣例的・閉鎖的?になりがちな学校に新風を吹き込む事につながるものと思えます。教師の意識改革や学校運営の改善を促す事が期待されるところです。



鎌倉彫の体験教室



英会話教室

れた知識、技術を持った社会人を積極的に受け入れる(外部委託)アウトソーシング)事は、何よりも学校の教育内容や活動を多様化し質を高めます。

幅広い経験と優

です。

幅広い

経験と優

です。

更には地域生活者としての児童・生徒たちが、各層の支援者、指導者と接する事になり、より多くの目で評価される事になります。  
学校外社会人の活用例(小学校)を示しましょう。  
放課後、児童が特別教室、多目的室などに集まって来ます(曜日、時間、部屋割の設定)。担当者が各室に待機しているの、仮称「ふれあい教室・体験教室」の始まりです。コースには囲碁将棋・邦楽・雅楽・パソコン・英会話・昔遊び・習字・短歌俳句・科学等々があり、選択は自由で学年制はありません。個性尊重、異学年交流を図り、地域生活者としての「生きる力」を育む学びの場とします。

まず、人材確保のため「学校だより」や町内の回覧板等を通して「人材バンク」への登録を呼びかけてみては如何でしょうか。

地球より重き命と教へられ  
子らはうつつとやかに生くべき

(清水 芳洞)



### 札幌圏の

## 直下型地震がら七か月

今後とも発生する  
可能性あり



いきなり過激なタイトルで驚かれた事と思います。

時は去年に戻ります。十二月二日



(水) 午前六時四十四分ころ、清田区を震源に直下型地震が発生し、一部の地域、北広島で学校では窓ガラスが割れ、体育館の材料がはがれ

有明では土砂崩れが発生するなどの被害が出ました。

石狩地方では十月二十日に北広島で震度三を記録して以降、十二月二日まで石狩地方を震源とした震度一以上の地震が十一回観測されています。

それから半年が過ぎ十二月二日以降は身体に感じる余震が八回ほどありその後平常に戻り危険に対する認識

も徐々に薄れつつあります。死亡・不明者が関東大震災に次ぐ2番目の被害規模となった三月十一日東日本大震災の記憶は鮮明だと思えます。「天災は忘れた頃にやってくる」「備えあれば患いなし」の言葉通り今後とも油断は出来ません。



札幌市では地元住民に地震情報を出るだけ明らかにして、地震対策への理解を深めてもらおうと十二月二十一日(火) 清田区民センターで「石狩地方中部の地震に関する報告会」を開催しました。報告したのは北大の地震火山研究観測センターの高橋浩晃准教授です。高橋准教授によりますと、十二月二日の地震は直下型で震源地は清田区真栄の地下三〜四キロの浅い地点で発生した事が明らかになっています。

震度五弱：北広島IC付近

四：里塚霊園付近

三：区役所付近

気象庁の発表では最大震度が三でしたが、実際は違っていました。理由について「気象庁の震度計が恵庭にあり、震源からの距離が震度計より近い地域は間に合わなかったため」と報告しています。

△地震の仕組みについては▽

太平洋プレートに押されて札幌の地中にある活断層(西札幌・月寒・野幌丘陵)に力が加わってひずみが崩壊し

月寒断層の一部が動いて地震につながったものと説明がありました。

高橋准教授は最後に「札幌市の地下には直下型地震を引き起こす西札幌・月寒・野幌丘陵の三つの活断層があります。今後、これらの活断層による地震が発生する可能性があります(札幌市の想定による最大震度は七)。日頃から家庭内の地震防災対策が被害を最小限にします」と注意を呼びかけました。

一方、札幌市からは二十一年三月に配布した「地震災害マップ」の活用・

仕方について説明がありま

した。ところ

で、直下

型は地下

にある活

断層で発

生する震

源が浅い

地震で、人の住む土地の真下で発生するため、たびたび大被害に見舞われます。阪神・淡路大震災や新潟中越大地震などが知られています

また、直下型は最初がズーンという感じで上下(縦)に揺れるので速く伝わりませんが速くまでは伝わりにくいのが特徴です。そして「縦揺れ」に「横

揺れ」が加わりますます最悪で大きな被害が予想されま

す。

札幌市

が配布した「地震災害マップ」により

ますと、今後起きる地震として月寒断層が震源で、マグニチュード七・三〜六・七の規模を予想、そして清田区の殆んどが震度六強の揺れを、中でも震度七が清田中学校付近、清田区役所付近、真栄地区会館付近、平岡公園付近、さらに建物の一〇〜二〇%が全壊すると推測しています。

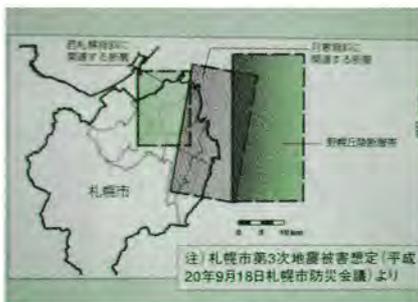
また、冬季間に発生した場合に死者は全市で八二〇〇人を超えて阪神・淡路大震災を上回り、その七割が凍死と想定しています。

直下型

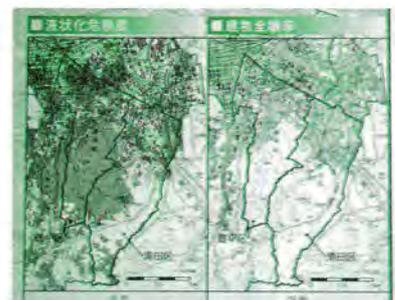
地震の発生周期は数百年に一度とも

いわれており、札幌では昭和二十六年に震度三を記録した以後は震度一〜二クラスが十〜十五

注)札幌市第3次地震被害想定(平成20年9月18日札幌市防災会議より)



3断層  
源が浅い  
断層で発生する震源が浅い



液状化・建物全壊率

年に一回起きる程度でした。しかし安心は禁物、しかも直下型地震は予測、事前速報は不可能に近い状態です。必要以上に恐れることはないにしても今後も警戒が必要で、私達は何時発生しても慌てないように身の回りの準備、心の備えをして置く事が大切です。へ東日本震災被災地に義援金V  
町連は加入している十一の町内会の

# あしりべつ 郷土館

**入館者が減少傾向**

清田の歴史が学べる「あしりべつ郷土館まつり」が今年も一月十四日(金)に開催され多くの家族連れで賑わいました。

清田区民センターの二階にある「あしりべつ郷土館」は清田地区開基一〇〇周年記念事業の一環として、昭和五十八年に「清田地区郷土館」の名称で旧清田出張所内に開館しました。

その後、昭和三十六年に「あしりべつ郷土館」と改称され平成十四年に現在の場所に移転しました。館内には清田で発掘された石器や土器のほか、開拓時代に使われた農機具や生活用具、いろいろ端を復元した農家の様子などが展示されています。また自由にパソコ

協力をえて東日本大震災の被災者に対する義援金を呼びかけました(五月三十一日〆切)。この結果、多くの善意が集まり町内会ごとに日本赤十字社を通じ左記の通り金額を贈る事が出来ました。

総額 五五〇、八〇〇円

ご協力ありがとうございました。

ンを利用できる情報コーナーもあり、見て、触れて、体験して、自ら調べることのできる郷土館として現在に至っています。

また平成十九年には清田区誕生一〇〇周年記念で、未来に引き継ぐ貴重なものとして「ふるさと遺産」にも選ばれています。

統計によりますと入館者(年間)は平成十四〜十六年の六千人台を最高に十七〜十九年が四千人弱、二十年からは二千九百人台まで落ち込み二十二年度は約二千四〇〇人と、これまでの最低で十四〜十六年の1/3となっています。特に



小中学生の入館者が年々減少しているのが目立っています。

町内会連合会では二十一年、郷土館まつりの入場者に対しアンケートを実施しました。少し年数が経過しましたが、以下アンケートの集計です。

## 回答者は二九五五人

- 十代： 一〇人： 三・四%
- 二十代： 二： 〇・七%
- 三十代： 一六： 五・四%
- 四十代： 二六： 八・八%
- 五十代： 四三： 一四・六%
- 六十代： 二四： 四・二%
- 七十代： 六三： 二一・四%
- 八十代： 一一： 三・七%

## 「郷土館」は初めてですか

- |      |    |    |    |
|------|----|----|----|
| 十代：  | 九人 | 一人 | 五人 |
| 二十代： | 二  | 四  | 三人 |
| 三十代： | 九  | 六  | 五  |
| 四十代： | 一五 | 二〇 | 七  |
| 五十代： | 一六 | 七  |    |

- 六十代： 五七 四九 一八
  - 七十代： 二二 二八 一三
  - 八十代： 七 一 三
- 初めてが四六%を占めており入館し易い工夫が必要か。

## 「郷土館」を何で知りましたか？

- 広報さつぼろ： 三一・五%
- 区民文化祭： 三一・二%
- 区役所の案内： 一一・九%
- 郷土館まつり： 七・一%

広報さつぼろ・区民文化祭での周知度が高まっているが郷土館独自の対策が必要では。

## 「郷土館」に再度入館したいですか？

- はい： 九六・二%
  - 十〜二十代： 一二人
  - 三十〜五十代： 八五
  - 六十〜八十代： 一九八
- 年齢が高くなるに比例して再度入館希望が多くなっているが、若い世代(小、中学生)に対し清田の歴史に興味を持ってもらう方策が必要なのではないか。

## 入館しての感想

(満足)  
清田の歴史が解り、昔の物を見る事が出来勉強になった。  
歴史の事細かに閲覧出来るすばらしい資料館だ。

(要望)  
もう一步生活感・活動が見て解かる工夫が欲しい。  
地形図がもつと解り易いが良い。  
清田区内での大きなイベントで簡単に道運び出来る品を展示、PRしては。

### 連合会だより「清流あしりべつ」

## 全道広報コンクールで入賞

一般社団法人「北海道町内会連合会」が主催する「町内会・自治会広報コンクール」で当町連が発行している

「清流あしりべつ」が佳作に入選しました。コンクールは四年に一度実施されているもので二十二年度が六回目の実施でした。今回は全道から連合町内会(十九)単位町内会(九十二)合わせて百十一作品の応募があり、当町連からは第四八号(二十二年一月号)と四九号(二十二年七月号)の二部を提出しました。

表彰式は五月札幌市で開催された全道町内会活動研究大会の席上で行われました。

講評は：



年表を作つて欲しい。  
写真に地名を入れてはどうか。  
体験出来るものがあれば。  
もう少し興味が持てる様にしたら良いのでは。  
郷土館まつりが何をしているのか分からないので詳しく知りたい。



「A4判十十八ページ」と読みごたえのある広報紙になつています。お知らせ記事だけではなく、町内会長の座談会を開き、地域の今や将来を考えるなど、町内会連合会ならではの企画が素晴らしい」と云う事でした。

受賞した「清流あしりべつ」は道町内会連合会の「住みよいまちづくり通信」とホームページで紹介されています。

町連の「広報紙」は昭和四十七年八月二十五日に「連合会だより」第一号としてスタート(B4判四ページ)、平成十七年七月からは広報部が新設さ

れたのを機会に現在の「清流あしりべつ」(A4判)に衣替えしカラーも黒一色から目に優しい二色に変身させました。その間、地域の人たちの協力に支えられ二十三年の一月で五十号の発行を迎えました。

発行は七月と一月の年度二回ですが部員一同は「読んでもらえる小冊子」としてこれからも取り組んでまいります。

## 地下鉄の清田区延伸はどうなる

四月十日の統一地方選挙で上田文雄氏が札幌市長に三選されました。

選挙期間中、争点として浮上していた地下鉄東豊線の札幌ドーム・清田方面への延伸をめぐる慎重派の上田氏と推進派の本間候補が街頭演説で違いを見せました。新聞記事によりますと、上田氏は「今の財政で延伸はとも出来る話でない」と指摘。「清田の方々

に意地悪をしているわけではない、少子高齢化の中で赤字が重荷になる」と理解を求めた。一方、本間氏は「雪国・札幌では地下鉄の利便性が高い」と強調。「ドームへのアクセスが悪い」との声も聞く「交通空白地帯」の清田方面への延伸を實行して行きたい」と



決意を語つた。と記されており、選挙の結果は(清田区のみ)上田氏の得票率が五二・〇二%、本間氏が四七・

九八%その差〇・〇四%の二、二七四票と十区のうち一番の接戦区という結果になりました。つまり清田区民は財政再建路線を旗印にした上田氏を選択しました。

この結果から清田区への地下鉄延伸は当分不必要と見るのか、実現派から見ると延伸はむずかしい状態になったのか、将来的にどうなるのか?

「地下鉄東豊線建設促進期成会」では、これまで毎年、要望書を札幌市長に提出しており、去年は清田区選出の道議会、市議会議員を顧問として迎えて組織の強化を図り、実現に向けて活動を続けています。

期成会の次期事務局を担当する清田地区町連の牧野晃会長は「区民からの発信は何事においても最大の力になるのですが、現状では肝心の区民の声・盛り上がりが見えていないのが実情で、町連の責任かも知れないと反省しています。地下鉄の延伸は清田区民の悲願

であり、これからは商工振興会や各種団体なども加え清田区総掛かりで取り組んで行かなければならない」と話しています。



22年度 期成会

区延伸実現を一步進めるためには建設促進期成会の発想転換や、ひと工夫した運動

と提案が必要と思われます。

そこで地下鉄の清田区延伸問題について皆さんの率直なご意見を左記の広報部までお寄せ下さい。(小山田義信)



### ご意見募集について

原稿について

タイトル、本文、町内会と執筆者名(記事については匿名でも可です)全体で原稿用紙四〇〇字程度で良いです。

掲載は

原稿は「連合会だより・清流あしりべつ」の一月号で紹介いたします。

掲載までの流れは

原稿は必要に応じて加筆、修正する

事もあります。

原稿は

掲載後は広報部で責任を持って処理致します。

メ切りは

十月三十一日必着

### 交通安全運動で表彰

長年にわたり交通安全運動の推進に活躍した二氏が二月七日表彰されました。(敬称略)

北海道善行賞表彰(交通安全実践者)

川瀬 栄一

有明一六〇



川瀬さんは昭和六〇年四月から交通安全

全指導員として活躍、平成二十三年三月に退きましたが二十六年間の長きにわたり地域の事故防止に務め、その間交通安全に関する数々の賞を受けました。

北海道交通安全運動推進委員長表彰

畠山 昇

平岡一条一丁目



畠山さんは平成十七年四月から交通安

送り先は

〒〇〇四一〇八四一

清田区清田一条二丁目五〇三十五

清田まちづくりセンター内

町連広報部

全指導員の委嘱を受け地域の小・中学校近くの通学路に立ち児童・生徒の登下校を見守って来ました。児童・生徒への優しい心遣いは今後も続きそうです。

### 地域の安全活動を推進 清田地区から四人 一団体が受賞

六月一日、豊平区民センターで開催された「札幌豊平防犯協会連合会総会」の席上、清田地区から個人四人と一団体が連合会長から防犯功労者として表彰されました。四人は防犯ボランティア、また、パトロール隊員として長年にわたり登下校時に通学路に立ち、児童・生徒を見守り続けている他、青色パトロールカーで地域を巡回し見守り活動を続けて来ました。又、現在青色パトロールカー五台で登下校時や不審者出没などに目を光らせるなど、見守り、

声かけを実施している清田地区防犯パトロール隊が団体表彰を受けました。受賞者(敬称略)

個人

横江 光良



右から本間 亜輝 遠藤 久  
佐藤 武文 武田 輝夫

団体

清田地区防犯パトロール隊

代理 田辺 利夫



# 活躍する 地獄太鼓クラブ



清田区ふれあい区民まつり、清田地区町内会連合会の新年交礼会などで活躍中の「橋本流地獄太鼓清田教室」を紹介します。

堀先生を中心に現在十二人の仲間が「まつたりあたたく」をモットーに練習に励んでいるとの事で見学させていただきました。



練習場に入るや太鼓から打ち出される振動が身体全体に伝わりました。



練習風景とは思えないクラブ員の迫力のある真剣な様子に眼を見張りました。でも、ひとたび休憩に入ると笑い声が絶えない和気あいあいとした雰囲気がありました。

メンバーは小学生から大人まで様々ですが、個々のパチさばきが一体になって完成されたりリズムを生み出すというのも他には見られない和太鼓ならではの

のものでしょうか。  
連絡先

橋本流地獄太鼓清田教室 堀みさを  
TEL/FAX 八九二〇四七三二  
(佐々木康子)

## 清田の水めぐり



空の青と緑の樹海、たゆとう小花と風の戯れ、ふりそそぐ陽光の透明感にふと心を揺り動かされ、春の一日、清田の水めぐりに出かけて来ました(愛用の「清田のシンボル&清田ふるさと遺産」のパンフを携帯して)。

まず、「有明の滝」を見ました。落差約十三メートル。ミズナラ、イタヤカエデ等の広葉樹が茂り、紅葉が楽しみな所です。次に「ふれあいの森」に足を運びました。湧き水は四か所から出ており発見する喜びを感じました。ここは施設(木工、陶芸窯など)も充実し、四つの散策コースも整備されているので家族で楽しめます。いよいよ清



厚別川

田の母なる川「あしりべつ川」(正式河川名は「厚別・あつべつ川」)の探勝です。川は一級河川で長さ四十一・七km、豊平川最大の支流です。源流は空沼岳山頂付近です。清らかな水の流れを心象の鼓動としながら、松浦武四郎(幕末・維新期の北方探検家「安政五年「一八五八」当地を探検)や吉田善太郎(吉田用水)などと思



田の母なる川「あしりべつ川」(正式河川名は「厚別・あつべつ川」)の探勝です。川は一級河川で長さ四十一・七km、豊平川最大の支流です。源流は空沼岳山頂付近です。清らかな水の流れを心象の鼓動としながら、松浦武四郎(幕末・維新期の北方探検家「安政五年「一八五八」当地を探検)や吉田善太郎(吉田用水)などと思

## プロの狂言師を招いて 初の伝統芸能

元道議会副議長で清田区真栄の大内良一さんが代表を勤める「清田・能狂言を鑑賞する会」が六月二十二日に清田区民センターで「狂言を楽しむ夕べ」を開催しました。

大内さんは平成二十一年に松原宏悦さん、長岡武夫さんとともに「能狂言を鑑賞する会」を設立し市民による手づくりの能や狂言の会を開き、設立三年目にしてプロ狂言師による鑑賞会を開催する事になったものです。イベントには大蔵流狂言師で重要無

いを馳せ、ひたすらに歩み続けました。区役所内の「ホタル池」(湧き水)を見学し、最後は清田の豊かな地下水を利用した食品製造工場(豆腐等)や飲料水工場(コーラ、いろは・す等)に立ち寄ってみました。

春の河その流量をおもひぬる  
水のごとくに風吹きすぎて

(石川不二子  
清水 芳洞)

形文化財の山本東次郎さん、則俊さん兄弟と山本則重さんの三人が出演。



演目は「昆布売」

あらずじは都へ上がる大名が通りがかりの昆布売りを無理やり「太刀持」にさせますが、その瞬間から武器を持った昆布売りも立場が逆転して行く様子を表現したもので、舞台で繰り広げられる狂言ならではの楽しい曲、笑いを誘う演技に会場に詰めかけた約三五〇人の愛好者を堪能させていました。  
(松原 宏悦)



△四月  
春の交通安全街頭啓発



▷五月  
総会



△七月  
区民まつり



▷七月  
こがもちゃんバス遠足



▷十二月  
もちつき大会

清田地区町内会連合会年間主要事業

年月	事業名・内容
平成23年4月	・清田地区町内会連合会総会(総務部) ・防犯パトロール、子どもを守る強化月間(防災・防犯部)
5月	・春の交通安全街頭啓発(交通安全対策部) ・清田区女性部連絡協議会総会(女性部)
6月	・不法投棄対策事業(一回目)(保健衛生部) ・役員一日研修(総務部) ・青少年育成委員会全体研修会(青少年育成部)
7月	・清田区民まつり(総務部・交通安全対策部・青少年育成部) ・第33回札幌市社会福祉大会(福祉厚生部) ・第12回パークゴルフ大会(体育部) ・連合会だより51号発行(広報部)
8月	・清田区防災訓練(防災・防犯部) ・清田区5町連地区対抗壮年野球大会(体育部) ・親子レク(青少年育成部)
9月	・秋の交通安全街頭啓発(交通安全対策部) ・厚別神社祭典見まわり(青少年育成部) ・第36回歩く運動(体育部) ・清田地区女性部長会議(女性部)
10月	・秋の地域安全運動道民集会(防災・防犯部) ・共同募金活動(福祉厚生部)
11月	・まちづくりシンポジウム(防災・防犯部) ・大縄跳び大会(青少年育成部)
12月	・第2回保健衛生部会(保健衛生部) ・清田町連歳末防犯パトロール(防災・防犯部) ・親子餅つき大会(青少年育成部) ・1円玉募金取りまとめ(女性部)
平成24年1月	・地区新年交礼会(総務部) ・成人式(参加協力)(青少年育成部) ・連合会だより52号発行(広報部)
随時	・子どもの見守り活動(防災・防犯部) ・防犯夜間パトロール(防災・防犯部)

清田地区社会福祉協議会(福祉のまち推進センター)年間主要事業

年月	事業名・内容
平成23年5月	・『清田地区社会福祉協議会』定期総会
7月	・「こがもちゃんバス遠足」実施
9月	・第8回 こがもちゃんミニオリンピック大会実施
10月	・福まち合同講演会実施
11月	・『友愛訪問』実施
12月	・第9回 福まちお楽しみ会実施
平成24年3月	・第11回「ほほえみ交流会」実施



△一月  
新年交礼会

# 平成23年度 清田地区町内会連合会役員名簿

役職名	氏名	所属町内会	備考
顧問	長岡 武夫	清田町内会	
	林 茂	清田町内会	
	紙 栄吉	東真栄町内会	
会長	牧野 晃	真栄第四町内会	
副会長	清野 廣一	真栄団地町内会	真栄団地町内会会長 総務部長 兼任
	田崎 克典	真栄第三町内会	真栄第三町内会会長 福まち運営委員長 兼任
	松原 宏悦	清田有楽町内会	清田有楽町内会会長
監事	畠山 昇	新平岡町内会	
	土田 輝一	真栄団地町内会	真栄団地町内会副会長
総務部長	清野 廣一	真栄団地町内会	
財務部長	角口 八郎	東真栄町内会	
福祉厚生部長	大滝 正	清田町内会	清田地区民児協副会長
保健衛生部長	西海 利一	真栄第二町内会	
防災・防犯部長	横江 光良	清田有楽町内会	
交通安全対策部長	本間 亜輝	新平岡町内会	新平岡町内会副会長
青少年育成部長	田上 雄二	真栄第一町内会	
女性部長	茂木 良子	真栄第二町内会	
体育部長	住吉 誠一	真栄第一町内会	清田体育振興会会長
広報部長	小山田 義信	真栄団地町内会	真栄団地町内会副会長
理事	林 憲	清田町内会	清田町内会会長 清田地区 青少年育成委員会会長
	野村 正己	新平岡町内会	新平岡町内会会長
	藤本 石雄	真栄第一町内会	真栄第一町内会会長
	氏家 正	真栄第二町内会	真栄第二町内会会長
	齋藤 卓三	真栄第四町内会	真栄第四町内会会長
	宮下 隆敏	東真栄町内会	東真栄町内会会長
	佐藤 孝之	美しが丘町内会	美しが丘町内会会長
	漆館 勝弘	有明町内会	有明町内会会長

**住民の身近な相談相手**  
二十三年度の清田地区民生委員・児童委員です。  
担当区域は左記の通りです。  
(順不同、敬称略)

●清田町内会  
猪野毛 昭男 大滝 正  
小沢 正司  
●真栄第一町内会  
洪谷 春美 川原 道子

●真栄第二町内会  
石崎 ゆう子 浜谷 市子  
●真栄第三町内会  
田崎 敬子  
●真栄第四町内会  
石田 幸雄 吉岡 美千代  
●東真栄町内会  
川原 照子 岡林 榮男  
●有明町内会  
鶴飼 郁子  
●真栄団地町内会  
三木 明美 高橋 恵子

●新平岡町内会  
後藤 眞一  
●清田有楽町内会  
野村 正己 石川 康子  
●美しが丘町内会  
大谷 政子 関口 由美  
●和野内 玲子  
●有明町内会  
漆館 勝弘  
●清田地区全域  
西川 ゆかり 小川 悦子

## 編集後記

民生委員に関するお問い合わせは区役所の保健福祉課へ。八八九〇二四〇〇

先の選挙では、市民参加による市政や財政再建路線で成果を上げています。市長の公約や方針が評価されたわけではなく、単に地下鉄の延伸問題については清田区民への説得力に欠ける。雪国の理想的な交通システムのあり方について単に利便性や経済性だけで評価するのは、温床化対策、環境保護対策など総合的に検証、評価することが大切だ。地下鉄、路面電車、バスとの公共交通機関を積極的に活用し、人と環境に優しい都市交通システムへの構築に向けた議論と新たな提案を求めたい。市民が議論と新たな提案を求めている。結果として市民負担(税)が増える。大胆に取り組みリーダーを求めている。市民は少なくない。区民の足としての地下鉄の延伸を含む公共交通機関の革新的な再編が望まれる。(長屋 俊二)

二十三年度の広報役員です(五十音順)  
池田 敏夫(真栄第一)  
小山田 義信(真栄第一)  
佐々木 康子(真栄第四)  
清水 芳夫(東真栄)  
筒屋 幸一(真栄第三)  
長屋 俊一(真栄第二)  
細木 信利(美しが丘)  
松原 宏悦(清田有楽)  
谷 哲子(清田)  
延明(エンブレム)  
祈男(まちづくりセンター)

地域の話がありまじら  
部員までお知らせ下さい。